

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校)

目指す学校像	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
--------	--

重点目標	1 グローバルな視点で学びを支援し、自ら進路を切り拓く一女生を育成する。 2 部活動や学校行事などを通して、何事にも主体的に取り組む一女生を育成する。 3 外部連携を一層推進するとともに、一女の教育活動を積極的に発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者	5名
生徒	2名
事務局(教職員)	15名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価		
年度目標					年度評価(2月1日現在)		実施日 令和6年2月17日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	減	次年度への課題と改善策		
1	<p>進路指導・学習指導については一定の成果を上げているが、情報発信をさらに強化するとともに、さらなる向上を目指し対策を講じていく必要がある。</p> <p>また、一人一台端末導入に向けた活用方法等の情報共有は行われているが、導入後効果的に活用されるようさらに検討を進める必要がある。</p> <p>探究学習については専門家の支援が取り入れられるなど効果的に行われているが、各教科の学習に止まらず探究的学習に引き続き力を入れる必要がある。</p> <p>コロナ禍において制限付きであった国際交流等のグローバル教育を一層進めていく必要がある。</p>	<p>①一人一台端末を活用した学びの転換を促す指導を実践する。</p> <p>②高い志を育み実現する組織的な進路指導を実践する。</p> <p>③SDG'sの実現に貢献する人材育成を目指す探究学習を実施する。</p>	<p>a 授業を中心とした学習習慣の確立を目指した教科指導を実施する。</p> <p>b 一人一台端末を活用した授業を実践する。</p> <p>c 予習→授業→復習の黄金サイクル習慣化に向けた取組を行う。</p> <p>d 上位層・中下位層をそれぞれ伸ばす教科指導を実施する。</p>	<p>ア 塾に頼らせない教科指導の実施状況</p> <p>イ 一人一台端末を活用した授業の工夫を行った教員100%</p> <p>ウ 一人一台端末を活用した授業に関するアンケート項目の肯定的回答7割以上</p> <p>エ 生徒の自主学習の定着状況</p> <p>オ 教科指導に関するアンケート項目の肯定的回答9割程度</p>	<p>①学びの転換を促す指導を実践することができた。</p> <p>・生徒の学習習慣の確立を目指した教科指導を実施した教員100%、自ら計画的に学習に取り組むように意識啓発や課題の精選、授業展開の工夫に取り組んだ教員100%【教】</p> <p>・一人一台端末を活用した授業を実践した教員84.2%【教】</p> <p>タブレット端末活用事例集を作成し教員間で共有した。</p> <p>・1年生の85.5%がICTの活用に対して肯定的に回答【生】</p> <p>・分かりやすい授業が行われていると感じている生徒95.0%(△1.4)【生】</p>	A	<p>一人一台端末の活用方法等の情報は共有されているが、活用した教員は8割強にとどまっている。さらに活用率を上げるとともに効果的な活用方法について研究を進めていく必要がある。</p> <p>進路指導・学習指導については効果的に行われ成果を上げている。次年度もさらなる向上を目指し対策を講じていく必要がある。</p> <p>国際交流・探究学習は大きく前進した。次年度もさらに充実させるための方策を検討していくことが肝要である。</p>		
					<p>a 生徒面談等を通じた詳細な生徒理解の取組を行う。</p> <p>b 共に学ぶ集団を醸成する。</p> <p>c SSH活動を中心とするSTEAM教育を展開する。</p> <p>d 海外派遣・受入事業の実施(SGH)</p> <p>e オンラインを活用したグローバル教育事業を実施する。(SGH)</p>	<p>ア 面談に関するアンケート項目の肯定的回答9割以上</p> <p>イ 共に学ぶ環境の設定状況</p> <p>ウ 進路だより等による情報共有の状況</p> <p>エ 理系進学希望者数の状況</p> <p>オ 国際交流の実施状況</p> <p>カ 国際交流等に関するアンケート項目の肯定的回答9割程度</p>		<p>②組織的な進路指導を実践することができた。</p> <p>・教師が親身に相談のにつけてくれると感じている生徒94.2%(±0)【生】、保護者89.0%(△2.7)【保】</p> <p>・休業土曜日も教員全体で当番を割り振り、共に学ぶ場として開放した。</p> <p>・進路だより等を57号発行(1月末まで)</p> <p>・理系進学希望者の割合は約50%。</p> <p>・バドミントンサークル実施、台北一女来校、台北一女とのオンライン交流実施、R6.3代リス研修実施予定、R7台湾修旅決定</p> <p>・国際交流に関して肯定的回答した生徒【生】88.6%(△1.0)</p>	A
					<p>a 3年間を通じた探究学習プログラムを完成する。</p>	<p>ア 探究学習成果発表会の実施状況</p>		<p>③概ね達成することができた。</p> <p>・3年間の探究学習プログラムを完成させた。</p>	B
2	<p>部活動や学校行事等はコロナ禍以前の状況に近づきつつある。さらに活発化・公開化の方向に進めていく必要がある。</p> <p>また、悩みを抱える生徒も増えており、スクールカウンセラーを3人体制にするなど組織的な支援に取り組んでいるが、今後も継続してきめ細やかな対応を行う必要がある。</p>	<p>①部活動や学校行事を一層活発・公開化する。</p> <p>②スクールカウンセラーと連携した教育相談体制を整備する。</p>	<p>a 生徒が意欲をもって主体的に活動できる部活動や学校行事を行う。</p> <p>b コロナにより制限を受けた行事を実施し公開する。</p>	<p>ア 部活動、各行事に関するアンケート項目の肯定的回答9割以上</p> <p>イ 学校行事の公開実施状況</p>	<p>①活性化させ公開することができた。</p> <p>・生徒アンケートの肯定的回答は学校行事98.1%(△4.0)、部活動98.5%(△7.0)【生】と大きく上昇した。</p> <p>・体育祭を保護者公開、文化祭を一般公開、小学生対象部活動体験を実施した。</p>	A	<p>部活動や学校行事等はそれぞれ活発に行われ高く評価されているが、この取組を継続して行っていくことが肝要である。</p> <p>相談生徒数は2割程度減少しているが、悩みを抱える生徒も一定数存在する。「個別の保健指導の進め方」に則り、スクールカウンセラーと連携したきめ細やかな教育相談体制を今後も整えていく必要がある。</p>		
					<p>a スクールカウンセラーとの連携を行う</p> <p>b 教育相談に関する基本的・実践的研修を計画的に行う</p>	<p>ア スクールカウンセラーの活用状況</p> <p>イ 支援を必要とする生徒の情報共有状況</p> <p>ウ 教育相談に関する研修の実施状況</p>		<p>②丁寧に対応し概ね達成することができた。</p> <p>・県のスクールカウンセラーが配置されるとともに、県のオンラインカウンセリングも活用し、生徒の相談対応がより充実した。</p> <p>・個別の保健指導の進め方について整理しまとめた。</p> <p>・特別支援コーディネーター(けやき特別支援学校)の依頼も5回行い、生徒面談を実施した。</p>	B
3	<p>HP、Google Classroom等を活用した情報発信は質、量ともに充実し効果的に行われており高く評価されている。この取組を継続して行っていくことが肝要である。</p> <p>また、土曜授業公開や学校説明会などの公開も充実しておりその継続・向上が必要である。</p> <p>外部機関との連携はコロナ禍以前に戻りつつあるが、「戻る」に止まらずさらに連携を進めることが大切である。</p>	<p>①有益で質の高い情報発信を継続して行う。</p> <p>②外部との連携を見直し強化する。</p>	<p>a HPの更新を全教職員で積極的に実施する。</p> <p>b 一斉メール配信を積極的に行う。</p> <p>c 保護者向け進路情報の発信を増強する。</p> <p>d 生徒による中学校訪問を行う。</p> <p>e 本校主催の学校説明会の充実に加え、外部の説明会等へも積極的に参加する。</p>	<p>ア HPのアクセス回数70万回以上、更新回数300回以上</p> <p>イ 一斉メールを用いた情報発信の状況</p> <p>ウ 保護者に向けた進路情報の発信状況</p> <p>エ 生徒による中学校訪問の実施状況</p> <p>オ 外部の説明会等への参加状況</p> <p>カ 学校説明会の実施状況</p>	<p>①質の高い情報の発信を継続することができた。</p> <p>・HPアクセス数74万回、更新372回</p> <p>・今年度HPを更新した教員63.4%【教】</p> <p>・1月末までで92件一斉メールを発信した。</p> <p>・進路だより、保護者会を通じて適切に情報を発信した。</p> <p>・生徒による中学校訪問(168校)を再開した。</p> <p>・進学フェアをはじめ、塾説明会4回・相談会2回、塾関係者を招いての学校説明会2回実施。</p> <p>・学校説明会5回、ミニ説明会2回実施し昨年一昨年とほぼ同じ1,343組の中学生保護者が来校</p>	A	<p>HP、Google Classroom、一斉メール、紙媒体等を活用し、効果的な情報発信が行われ保護者からも高く評価いただいている。継続して行っていくことが重要である。</p> <p>学校説明会や生徒による中学校訪問などを通じての情報発信も充実しており、その継続とさらなる向上が肝要である。</p> <p>外部機関との連携は広範囲に行われているが、精選し重点化していくことも必要と思われる。</p>		
					<p>a 地域や外部機関との連携をコロナ禍以前に戻すとともに新しい形での連携を進める。</p> <p>b 東大見学会・麗風セミナー・OG懇談会等のOGとの連携行事を行う。</p>	<p>ア 外部機関と連携した行事の実施状況</p> <p>イ OGを活用した行事の状況</p>		<p>②外部との連携を強化できた。</p> <p>・浦和コミセン・南公民館・浦和警察・JR浦和駅・高砂小等との連携行事を実施した。</p> <p>・麗風セミナー5回、OG懇談会、東大見学会、東北大ボクシング等においてOGを活用した行事を実施した。</p>	A

【保】保護者アンケート【生】生徒アンケート【教】教員アンケートにおける回答率を示す

各教員の持ち味が発揮された双方向的、対話的な授業が行われ生徒が生き生きと学んでいる。

先生方の努力により、通常の活動の中でよくICTが活用されている。

一人一台端末を活用した授業については、実践した教員が84%に止まる原因を分析し次年度へつなげてほしい。

一女での3年間にまかれた種が20年後、30年後に花開いている話をよく聞く。生徒への多様な働きかけが素晴らしい、学力だけでなく人間性を育てていると感じる。

SSHの自己負担金が学びのハードルにならないことを望みます。